

助産学概論(理論)発表スケジュール

1 日時:令和8年4月30日(木) 10:30~12:00

2 場所:教室 各グループごとにまとまって着席する

3 タイムスケジュール

1G 発表時間:10分 質疑応答 2分

※8:40分までに、各グループは発表資料を教室のPCのデスクトップに貼り付けする。紙印刷した資料も1部提出する。

司会・進行:演習委員(川上・小池・永堀)

10:30~10:45	発表準備	
10:45~10:55	ルービンの母性論	1G 発表(川村・戸田・永井・児島)
10:55~10:57		質疑応答(4G)
10:57~11:07	マーサーの母親役割獲得理論	2G 発表(長山・本田・永堀)
11:07~11:09		質疑応答(5G)
11:09~11:19	愛着理論	3G 発表(小池・土屋・坏)
11:19~11:21		質疑応答(6G)
11:21~11:31	きずな理論	4G 発表(飯塚・上岡・高嶋)
11:31~11:33		質疑応答(1G)
11:33~11:43	危機理論	5G 発表(安田・成田・野村)
11:43~11:45		質疑応答(2G)
11:45~11:55	ディック・リード理論	6G 発表(佐藤・川上・飯島)
11:55~11:57		質疑応答(3G)
11:57~12:00	まとめ	

「助産学に関する理論について」グループワーク評価(15 点満点)

グループ メンバー

評価規準/尺度	とてもよい (5 点)	よい(4 点)	課題があるがテーマに沿っている(3 点)	努力を要する (1 点)
助産学の理論の理解	理論の背景・概念・目的を正確に理解し、自分たちの言葉で明確に説明できている	理論の主な概念を理解し、概ね説明できている	理論の説明が部分的・表面的である	理論の理解に誤りがある、または説明できていない
理論の臨床への適応	理論が臨床でどのように実践されるかを具体的行動レベルで説明できている	適応方法は示されているが、具体性がやや不足している	理論と実践のつながりが弱い	臨床場面として不適切であり、適応の説明ができていない
グループワークへの参加と協働	全員が役割をもち、主体的・協力的に取り組んでいる	概ね協力して取り組んでいる	一部の参加に偏りがみられる	協働がみられない